

9 番 田辺 水哉 議 員

1 児童手当について

- (1) 鹿屋市高校生応援給付金支給事業が令和6年9月末で終了し児童手当に移行したが、手続は支障なく行われたか。

2 移住・定住の推進施策について

- (1) 現在本市では9万7千人程の人口だが、今後は9万人程度の人口予測がされている。東京圏から鹿屋市への移住者へのU I J ターンの支援金も世帯移住で100万円、単身者で60万円、18歳未満の世帯員一人へ最大100万円加算の支給がされているが、年間で何人の移住者がいるのか。
また、相談者はどのくらいいるのか。
- (2) 移住定住を増やすならば、県や市の出身者への声掛けも重要だと思うが、地元出身者の集会などで地域おこし協力隊などの活用をしたP Rはできないか。
- (3) 地域活力推進課と他課との連携で移住定住の取組や企業誘致などの情報交換などされているか。